

談話会『第3回関西企業における音響技術の研究開発』のお知らせ

主催目的 関西には、音響・音声に関係する企業、研究機関、大学研究室が数多く存在し、日本音響学会関西支部の活動を支えている。本談話会では、関西企業（関西在住を含む）の方が携わる音響・音声に関する取り組み（音響処理技術/音声処理技術/音響機器/音声サービスなどの研究・開発・生産・販売）を、学生や教員、他企業の方に紹介する。これにより、大学、企業、学会の交流を図り、関西から音響分野を盛り上げていくとともに、今後活躍する人材創出のきっかけとしたい。

日程 平成29年2月21日（火）

第1部 ①Technics オーディオシステム試聴 ※要参加申込

②毎日放送3Dオーディオ試聴 ※要参加申込

第2部 談話会 ※要参加申込

懇親会 ※要参加申込

申込フォーム

※参加希望の方は下記申込フォームのフォーマットを参考に、

幹事（西川：nishikawa.tsuyoki@jp.panasonic.com）宛にご連絡下さい。

第1部 ①Technics オーディオシステム試聴：（出席／欠席）

希望時間帯を第3希望まで記入して下さい。

A) 10:10～10:40

B) 10:40～11:10

C) 11:10～11:40

D) 11:40～12:10

E) 12:10～12:40

第1希望：（A／B／C／D／E）

第2希望：（A／B／C／D／E）

第3希望：（A／B／C／D／E）

②T 毎日放送 3D オーディオ試聴：（出席／欠席）

希望時間帯を第3希望まで記入して下さい。

イ) 10:10～10:40

ロ) 10:40～11:10

ハ) 11:10～11:40

ニ) 11:40～12:10

第1希望：（イ／ロ／ハ／ニ）

第2希望：（イ／ロ／ハ／ニ）

第3希望：（イ／ロ／ハ／ニ）

第2部 談話会：（出席／欠席）

懇親会：（出席／欠席）

詳細 第1部

①Technics オーディオシステム試聴

集合場所：パナソニックセンター大阪 1階 テクニクスリスニングルーム

（大阪市北区大深町 4番 20号 グランフロント大阪 南館 1階）

<http://www.panasonic.com/jp/corporate/center/osaka/access.html>

時間：10:10～12:40※

定員：20名程度（先着順）

※1度に試聴ルームに入れる人数に制限があり、上記時間内で複数のグループに分けてご案内致します。申込フォームにて、ご希望の時間を連絡下さい。

②毎日放送 3D オーディオ試聴

集合場所：毎日放送本社M館 1階受付集合（大阪市北区茶屋町 17番 1号）

<http://www.mbs.jp/mbs/>

時間：10:10～12:10※

定員：25名程度（先着順）

※1度に試聴ルームに入れる人数に制限があり、上記時間内で複数のグループに分けてご案内致します。申込フォームにて、ご希望の時間を連絡下さい。

第2部 談話会

場所：同志社大学 大阪サテライト・キャンパス 教室 1[OS1]

(大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17 階)

https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/osaka_o.html

- 13:00 - 13:05 「談話会趣旨説明」 西川 剛樹 (パナソニック株式会社)
- 13:05 - 13:40 ①スピーカーの振動板の形状が立ち上がり特性に与える影響
柳館 直成 (三菱電機株式会社)
- 13:40 - 14:15 ②音声合成の研究開発とその応用
平井 俊男 (株式会社アルカディア)
- 14:15 - 14:35 休憩 & 懇親
- 14:35 - 15:10 ③超音波診断装置とその音響処理
津島 峰生 (コニカミノルタ株式会社)
- 15:10 - 15:45 ④socionext 社における音響技術開発とその応用
宮阪 修二 (株式会社ソシオネクスト)
- 15:45 - 16:05 休憩 & 懇親
- 16:05 - 16:40 ⑤オブジェクト・オーディオ (Dolby Atmos)
白柳 亨 (Dolby Japan K.K.)
- 16:40 - 17:15 ⑥受音した音声だけから明瞭性を数値で表す試みについて
～非アカデミア (企業) が明瞭性指標の研究をやってみた～
栗栖 清浩 (TOA 株式会社)
- 17:15 - 17:30 フリーディスカッション

懇親会

場所：ニューミュンヘン本店 (大阪府大阪市北区曽根崎 2-9-13)

<https://r.gnavi.co.jp/k015500/map/>

時間：18:00～20:00

会費：5,000～5,500円程度を予定

ご講演概要

- ① スピーカーの振動板の形状が立ち上がり特性に与える影響 柳館 直成 (三菱電機株式会社)
スピーカー性能の評価指標として、聴感上の「スピード感」などに影響する立ち上がり特性がある。しかし、定量的な評価方法が確立されていないことや、スピーカー構造との関係が不明確であるといった課題があったため、両課題を解決するための検討を行った。
- ② 音声合成の研究開発とその応用 平井 俊男 (株式会社アルカディア)
アルカディアにおける素片接続型音声合成の研究開発をベースに音声合成技術を説明するとともに、弊社の音声サービスの運用例をご紹介します。
- ③ 超音波診断装置とその音響処理 津島 峰生 (コニカミノルタ株式会社)
超音波診断装置の基本構成を述べた上で、昨今のハードウェアの進化により、これまでは可聴域音響で行われてきた信号処理が数MHz帯の超音波でも実現可能になってきた。本講演ではそれら技術トレンドと弊社取組みを紹介する。
- ④ socionext 社における音響技術開発とその応用 宮阪 修二 (株式会社ソシオネクスト)
当社では、バーチャルサラウンド技術を車載機器に応用し、安全運転支援や自動運転におけるナビゲーションシステムへの応用展開を図っていますので、その一端をご紹介します。
- ⑤ オブジェクト・オーディオ (Dolby Atmos) 白柳 亨 (Dolby Japan K.K.)
サラウンド音声の主流は、これまでのチャンネル・ベースのオーディオからオブジェクト・ベースのオーディオへと急ピッチで移行しています。ドルビーのオブジェクト・オーディオ・ソリューションである Dolby Atmos の説明を交えながら、オブジェクト・オーディオとは何なのかを説明します。
- ⑥ 受音した音声だけから明瞭性を数値で表す試みについて
～非アカデミア(企業)が明瞭性指標の研究をやってみた～ 栗栖 清浩 (TOA 株式会社)
巷で用いられている(おそらく全ての?)音声明瞭性評価指標は、信号を伝送する系がどれだけ優れているかを表しているだけで、決して音声そのものが明瞭かどうかを評価していないと思われる。人が明瞭性を感じるのと同じように、音源(元信号)を使わずに受音信号だけから導出する明瞭性指標の構築を試みたところ、人による明瞭性評価と整合性のある指標を得ることができた。

幹事:

パナソニック株式会社 西川 剛樹 nishikawa.tsuyoki@jp.panasonic.com